

\*\*\* ネットワーク \*\*\*

No. 44

# くすりと健康

発行責任者 平林 政子

発行/株東京医療問題研究所 〒164 0001 中野区中野5 47 10 03(3389)7110

エヌセイズ

# NSAIDs ってなに?

(非ステロイド性抗炎症薬)



熱や痛みは、病気に伴う苦痛のうち、最も多くの人々を悩ませる症状です。対症療法として解熱鎮痛抗炎症剤が使用されます。今回はその一種である NSAIDs (非ステロイド性抗炎症剤)について取り上げます。

NSAIDs ってなに?

いわゆる「痛み止め」「解熱剤」

エヌセイイズ

NSAIDsとは、炎症を抑える作用と、鎮痛・解熱作用を持つ薬の総称です。いわゆる「痛み止め」「解熱剤」は、これに含まれるものが多く、以下のような薬があります。

アスピリン、パファリン 330mg、ポンタール、ブルフェン、ナイキサン、ケンタン、ボルタレン、インテバン、インダシン、イドメシン、ハイペン など

\* 飲み薬だけでなく、坐薬、塗り薬、湿布などいろいろな剤形があります。

どんなときに使うの?

いろいろな痛み、発熱、炎症に使われます。

内科で・・・



のどの痛み、頭痛、発熱

胃痛や腹痛には効果がありません。

整形外科で・・・



腰痛、膝の痛み

歯科で・・・



歯痛

など

**漫然と使い続けない**

使用するときの注意

NSAIDsはそのときの痛みなどつらい症状を抑える、いわゆる対症療法の薬なので、できれば使用は少量にとどめ、症状がなくなったら漫然と使い続けないことが大切です。

ただし、脳梗塞予防のため服用している場合や川崎病の治療など、特に医師の指示がある場合は、服用をやめないでください。



## 主な副作用は?

胃腸への影響が知られていますが、それ以外にもこんな症状が出ることがあります。

### アスピリン喘息

**症状** 喘息発作 呼吸困難 など  
アスピリン以外の解熱鎮痛抗炎症剤でも引き起こされることがあります。喘息をお持ちの方は、特に注意が必要です。

### 胃腸への影響

**症状** 胃痛 胃のムカムカ 嘔吐 消化管から出血して便が黒くなる など  
**対策** なるべく食後に多めの水で服用する。胃薬を併用する。

### 肝臓への影響

**症状** 全身のだるさ 発熱 腹痛  
尿が褐色になり、泡立ち、泡も黄色い 皮膚や白目の部分が黄色くなる など  
**対策** 長期に連用する場合は、定期的に肝機能検査を行う。

### 腎臓への影響

**症状** 尿量の減少 むくみなど  
**対策** 長期に連用する場合は、定期的に腎機能検査を行う。



### 過敏症

**症状** 発疹など

特に、次のような症状が出た場合は、至急受診する必要があります。  
高熱(38 以上)、目の充血、めやに、まぶたの腫れ、目が開けづらい、くちびるや陰部のただれ、排尿・排便時の痛み、のどの痛み、皮膚の広い範囲が赤くなる

その他 過度の体温下降 四肢の冷え 眠気 出血しやすくなる など

このような症状が現れた場合は、必ず医師・薬剤師にご相談下さい。

# Q & A

Q1 インフルエンザで熱や痛みがあるけど、飲んでもいいですか？

A1 インフルエンザによる発熱・痛みには使えない薬もあります。

インフルエンザ脳症\*1 との関連が疑われている薬もあります。インフルエンザによる発熱や痛みが辛い場合は、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

\*1 インフルエンザ脳症...インフルエンザがきっかけとして生じる脳症。発熱に続いて、けいれん、意識障害、異常行動・言動などが起こる。



Q2 妊娠していますが、飲んでも大丈夫ですか？  
授乳中ですが、飲んでも大丈夫ですか？

A2 妊婦、授乳中の方には使えない薬もあります。

妊娠中は NSAIDs をなるべく使用しないほうがよいと言われています。また、母乳中へ移行する NSAIDs もあり、授乳中の服薬にも注意が必要です。家にある解熱鎮痛剤を安易に服用せずに、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

受診の際には、妊娠していることや授乳中であることを、必ず医師にお伝えください。



Q3 子供に飲ませてもいいですか？

A3 小児には使えない薬もあります。

ライ症候群\*2 の発症と NSAIDs との関連を示すデータが報告されています。

発熱や痛みが辛い場合は、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

\*2 ライ症候群...小児に見られる急性脳症。

